

2014年度（平成26年度）第2回河川AP論点整理

1. 改良済みダムの本年度のモニタリング状況について

(1) イワウベツ川

※サクラマスの調査は、産卵床調査とともに、発眼卵放流のデータをおさえることなど、経過観察をしていく。

(2) サシルイ川

※8月から9月まで河口でカラフトマスの捕獲を行っている旨、報告書等に付記すべき。
※不漁年のカラフトマスは、遡上する時期が遅く、あまり上流へ遡上しない傾向がある。

(3) ルシャ川

※第1ダム副ダムの下流はH22（2010）年から落差が拡大し、現在60cm程度ある。この落差は、流路を人為的に右岸側へ寄せるために設置していた築堤が決壊してなくなり、水の流れが直線化したことに起因していると考えられる。

水流の直線化やそれに伴う河床低下を検討するには、道路と橋の管理について議論を進めていくことが必要。

(4) 羅臼川

※5号床止工は石組帯工7基により魚道落差を解消する計画。

※石組に使用する石の大きさは、現況も確認のうえ60cm程度を考えているが、増水のため移動してしまう懸念があるため、アーチ型で組む方法を試してみてもどうか。

※低水路の拡幅案が採用できなかった理由について整理しておくことが必要。

(5) オショロコマ長期モニタリング

※2pass（2回除去法）で調査を行っているのは、最近では2passで密度推定を行っている研究が増えており、精度確保は可能と判断したため。

※高ダム密度を2基/kmとした理由は、このラインで区切ると統計的に有意な差が出るため。

※イワウベツ川の水温が高いのは、温泉水が影響している可能性があるためその記述が必要。

2. 長期モニタリング項目の評価について

※チニシベツ川は遺産地域外であるが侵略的外来種ワースト100に入っているニジマスが生息しており、他の河川への人為的移入は防ぐべきであり、今後の課題として明記しておくべき。

※ニジマスとの種間競争で、オショロコマが衰退している傾向が全道的に見られる。

※外来種駆除の問題は、地域の合意が必要。

※水温上昇に対する河川環境改善の手法としては、ダムにスリットを切ることで元の川幅と水深に戻し、河畔林を再生することで水温を下げる方法がある。

※水温上昇の河川は、現在のところ遺産地域外であることから、今後、遺産地域内の河川にも同様な影響が無いよう注視していくことが必要。

(課題)

- 遺産地域外ではあるが、シマトツカリ川（斜里町側）とチニシベツ川（羅臼町側）において外来種であるニジマスが採捕されたことから、今後、遺産地域内への人為的移動がないよう啓発していくことが必要。
- 遺産地域外で観測されている水温上昇は、ダム設置に伴う浅水深化や低植被率が一原因と推察されることから、今後、遺産地域内のダム設置河川の水温動向を特に注視していくことが必要。

3. 今後のダム改良について

(1) ルシャ川の取扱い

※第3ダムについては、堤体は岩着している可能性があることから、堤体を基礎部まで切っても第1ダムや第2ダムのように堤体の下から水が出ることはなく、シロザケの産卵床が多くできる場所にはならないのではないかと。

※堤体を基礎部まで切る案は、ダム上流部には不安定土砂もあるし、河床低下がさらに進む懸念。

※現在のダム下流の水流は直線的に海に向かっていているため、小砂利が溜まるよう河道を蛇行させる必要がある。過去の航空写真等で水を流す方向を検討してはどうか。

※下流が直線化しているのは道路と橋が影響していることから、道路と橋について先に検討する必要がある。現在の橋は撤去し、河床路とする案もある。

※元々は網状河川なので、堤体を切っても河道が1本とならず、深掘れもしない網状河川になると考えられるが、川の中心部分だけ堤体を切り下げて、将来的に網状河川となるかは疑問。

※堤体の切取り幅40mは、現状の川幅に対して相当広げることになるため、砂礫層の網状河川のミニチュア版が出来ないか等、将来を見越して段階的に行うのも一つの手である。

※右岸の水抜きは、詰まりを清掃して流況の変化を見るために行うものである。

(課題)

- ルシャ川の道路と橋の管理について、漁業者の利用も併せて議論を進めていくことが必要。

(2) 第2次検討ダムについて

※落差1m程度の滝であれば、周年川で生息している魚種は水量増加の際に遡上できる場合があるため、図面には記載不用。

※羅臼川の町設置の2号ダムは小さな落差なので、オシヨロコマのために改良の検討を開始してはどうか。

※これまでの検討は海から陸へ遡る検討をしていたが、オシヨロコマは流域内で移動する機会が多いので、その改良についても検討を開始して欲しい。

(課題)

○第2次検討ダムについては、来年度以降、現地視察を実施しながら優先順位を付ける等、検討を進めていく。

※モセカルベツ川では、施工イメージの構造では下流に水制工や帯工を入れるか、下流段差部分を淵中まで潜り込ませることが必要。

※モセカルベツ川の改良では、下流段差部分は潜り込み構造とする予定。

※モセカルベツでの魚道隔壁の上流法は、当たった水が少し盛り上がるように勾配をつけずに垂直とすべき。

THE UNIVERSITY OF CHICAGO LIBRARY, 5408 S. UNIVERSITY AVENUE, CHICAGO, ILLINOIS 60637
UNIVERSITY MICROFILMS INTERNATIONAL, 300 N. ZEEB RD., ANN ARBOR, MI 48106

THE UNIVERSITY OF CHICAGO LIBRARY, 5408 S. UNIVERSITY AVENUE, CHICAGO, ILLINOIS 60637
UNIVERSITY MICROFILMS INTERNATIONAL, 300 N. ZEEB RD., ANN ARBOR, MI 48106
UNIVERSITY MICROFILMS INTERNATIONAL, 300 N. ZEEB RD., ANN ARBOR, MI 48106
UNIVERSITY MICROFILMS INTERNATIONAL, 300 N. ZEEB RD., ANN ARBOR, MI 48106
UNIVERSITY MICROFILMS INTERNATIONAL, 300 N. ZEEB RD., ANN ARBOR, MI 48106